

薬薬連携（委）
担当 阿部

第3回 薬々連携委員会議事録

- 1) 日時 平成14年7月12日
場所 八王子薬剤センター駅前薬局 2F会議室
八王子市旭町12-6
出席 都薬 順不同 戸塚（委員長）、根岸・茂木・山田（哲）
下平・山田（政）委員。
（欠）堀委員。
都病薬 順不同 明石（副委員長）、阿部・阪本・吉尾委員。
（欠）村田・前田委員。
地区連絡（協） 等委員。

2) 議事

2-1 阪本先生による事例報告

- ・医療過誤による苦情
- ・調剤経験不足による秤量ミス
- ・麻薬の備蓄不備により院内処方に変更
- ・不安を増長するような説明
- ・用法用量の不適切な説明
- ・疑義照会の不備

2-2 前田先生のメールの紹介(下平先生)

インターネットにおける患者情報のセキュリティーの問題。
市中薬局の患者来局データの共有について。
町田市民病院薬剤部にもこの委員会に参加してもらいたい。

2-3 等先生から

「刻み漢方」院外処方受け入れの実態報告。

2-4 山田(政)先生 業務日誌よりの報告。

- ・H2プロッカとボルタレンの併用の疑義紹介
- ・錠剤不足のクレーム処理
- ・院外採用以外の処方について

- ・突然新薬が処方されたり等、連携不足
- ・説明時の気配り不足
- ・牛乳アレルギー確認の必要性
- ・疑義照会のカルテ無修正の懸念

【意見交換】

明石先生 誤投薬の場合医師(薬剤部も含めて医療機関)への報告がないケースについて。

阿部 (誤投薬)患者の誤調剤の訴えの中には勘違いもある。
再投薬時は医師に連絡し、処方せんを発行して対応している。(患者負担なし)

山田(政)先生 薬歴の活用や、接遇の工夫によって、不適切な患者の要求に対応している。

戸塚先生 薬剤師側の接遇の初歩的まずさにも問題がある。

下平先生 お薬手帳の有効活用が必要。キザミ生薬調剤は、対応可能な薬局を特定し、利用することが許されてもよいと思う。

山田(哲)先生 キザミ生薬の調剤ができますと手を上げた薬局が多いと聞いている。しかし、本当にちゃんと対応できるか疑問に思う。

等先生 開局、病院薬局間の患者情報管理に対する考え方の相違がある。

吉尾先生 在宅 IVH 対応の保険薬局の出現が待たれる。

阪本先生 院外麻薬処方を応需できる薬局のリストを今後揃えようと思っている。

3) まとめ

3-1.連携テーマは 院外処方箋、 研修・研究会、 その他に分類できる事が確認された。

次回委員会までに戸塚・明石先生が3つのテーマの具体的事項を抽出し、更に項目ごとの役割分担を決める事となった。

3-2.現在の段階では「 院外処方箋」の中の「処方箋の出し方、受け方の問題点及び対策」という項目が最重要課題であることが確認

された。

3-3.委員の新任

佐藤先生 (北野薬局)

山田(政)先生 (多摩調剤薬局)

* 差替えリスト参照

3-4.会費の件

都病薬支部 15万、都薬3支部 15万 分担

3-5.次回委員会開催

日時 9月20日 18:30~20:00 (第3金曜日)

場所 八王子薬剤センター駅前薬局 2F会議室
八王子市旭町12-6

出席 委員全員

3-6.次回記録は阪本先生に依頼する。

以上